

山武市協働のまちづくり指針（素案）に対するご意見の内容とご意見に対する市の考え方

番号	ご意見の内容	ご意見に対する市の考え方
1	<p>「はじめに」頁に係る「総合計画」の情報補完について</p> <p>* 最下段の・・・ 【そこで、この指針を定め、山武市としての「協働のまちづくり」のあり方や取り組み方等の共有を図り、山武市総合計画の施策「協働と交流によるまちづくり」を推進します。】に關して、です。 ↓↓ ▼今回の指針策定の例規文書となる山武市総合計画からの紹介と、巻末での【用語解説】へ総合計画の当該部分の引用を載せることで、より指針の理解と意味づけにつながるかと存じます。</p> <p><当該部分と抜粋> * 政策6 市民と行政が協働してつくるまちづくり [コミュニティ推進と行財政の効率化] p 8 6 https://www.city.sammu.lg.jp/data/doc/1680572170_doc_21_0.pdf</p>	<p>貴重なご意見ありがとうございます。 山武市総合計画には計画期間が定められていることから、山武市協働のまちづくり指針における用語説明として総合計画の当該部分について記載しないこととし、原案のとおりといたします。</p>
2	<p>◆「第7章」に構成に係る項目補完について</p> <p>【7 協働を推進するうえでの課題と方策】 ↓ この7章の冒頭へ、「現状」についての項目だてが、ベターかと存じます。 例えば・・・ (0) 山武市のまちづくりの現状 * 市民活動・地域の現状 * 行政の現状 * 市民と行政との関係をめぐる現状</p>	<p>【7 協働を推進するうえでの課題と方策】の冒頭に「山武市のまちづくりの現状」の項目だてをすることにつきましては、本指針の1ページ「はじめに」において山武市のまちづくりの現状を集約させていただいているため、原案のとおりといたします。ご理解いただきたいと存じます。貴重なご意見として、今後の参考とさせていただきます。</p>
3	<p>◆表紙、及び次頁の構成について</p> <p>▼表紙＝山武市20周年ロゴ&コピーでビジュアル強調 ”笑顔かがやく SUNSUNさんむ” https://www.city.sammu.lg.jp/shisei/shisei-info/page007601.html ↓↓ 本指針の「魅力あるまちづくり」との同期し、「協働」のイメージアップに資するかと存じます。</p> <p>▼次頁＝市長メッセージ（4月新任の市長さん） 「将来に渡って持続可能で魅力あるまちづくり」を実現するために、新市長さんによる「協働」のイメージアップに資するかと存じます。</p>	<p>表紙に山武市20周年ロゴを記載することにつきましては、その年限定で使用する周年ロゴに鑑み、長期的視点に立ったまちづくりのための指針において使用しないことといたしました。 また、新市長によるメッセージに関しましては、本指針の策定年度の関係上予定しておりません。</p>
4	<p>◆指針の確定以降、実施計画の検討・推進にあたって</p> <p>▼ご参照：全国の市町村の取組み * 今回の指針素案が、「将来に渡って持続可能で魅力あるまちづくり」を実現するための指針であることから、その「持続可能」なまちづくりに注視しております。（すでに山武市が、「消滅可能性自治体」で既報） ↓ * 今後、指針の確定後、その実施計画の策定に向け、調査・検討をお察し、（行き違いを恐縮ながら）政府・国交省のWEB公開資料から、全国の市町村の取組みを興味深く目にしました。 ↓ 「持続可能な地域づくり・まちづくりへのヒント～市町村の取組み」 国土交通省2010年3月 https://www.mlit.go.jp/kokudokeikaku/shichouson/hint_20100324.pdf</p>	<p>いただいたご意見を参考にしながら、協働を推進していくための道しるべである本指針において「将来に渡って持続可能で魅力あるまちづくり」の実現に取り組んでまいります。</p>
5	<p>◆山武市協働のまちづくり指針（素案）の全体について</p> <p>読み聞かせの活動を自分なりに楽しみながら行っています。昨年の図書館3館統合計画のパブリックコメントから、今更ながら行政の事は他人事ではなく自分事として考えなくてはいけないと思うようになりました。そして、市民活動の中で少しずつ他の団体と関わるようになり、それぞれが熱い思いをもって動いている事も知りました。ただ、それぞれが個々で動いていて、繋がっていないと感じます。これだけの方々が山武市の中で活動をしているのに、今は個々の発信のみで市としてまとまっていない、力が出しきれていないとも感じます。しかも、皆さん自前、ボランティアがほとんどです。読み聞かせの団体としても、まとまっていないと感じ、昨年より山武市読み語り連絡会を行って、繋がろうと呼びかけています。基本的には、毎日が楽しく、元気に過ごせれば、個々の活動でも良いとは思いますが、市全体の今後の自助、共助、公助を考えると市の中に大きなプラットフォームを置き、積極的に繋げる努力を進めて行くと良いと思います。（今後図書館をひとつにするにあたり、その中に市民活動が集まれる場所があると良いと思います）先日、さんむ西小のマイナビさんと話す機会がありました。地域の方にひと部屋を開放するとの事、そこで定期的に読み聞かせなどの活動を行って下さいとお声かけをいただきました。これから、ますます高齢化が進み、私自身も1日でも多く自分の足で歩いていたいと思います。高齢者〇病院、老人施設などとならないように、やりたい事や楽しく暮らし、それが山武市の中で役立つ活動であればより生きがいとなると思います。まとまらず、協働という趣旨にあっているかわかりませんが、山武市のために力を貸したいという市民がたくさんいるはずです。</p>	<p>本指針の全体的なご意見ありがとうございます。 協働のまちづくりを推進していくため、いただいたご意見を参考とさせていただきます。</p>